

あまつのりと
天津祝詞

高天原に 神留まります

たかあまはらに かむずまります

神漏岐 神漏美之命以ちて

かむろぎ かむろみのみこと もちて

皇御祖神 伊邪那岐之大神

すめみおやかむ いざなぎのおおかみ

筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原に

つくしの ひむかの たちばなの おどの あわぎがはらに

身褌褌い給ひし時に 生坐る祓戸の大神等

みそぎ はらいたまひしときに あれませる はらいどのおおかみたち

諸々の禍事罪穢を

もろもろの まがごと つみけがれを

祓へ給へ清め給へと申す事の由を

はらへたまへ きよへめたまへと もうすことのよしを

天津神国津神八百万の神等共に聞食せと

あまつかみ くにつかみ やほよろずのかみたちともに きこしめせと

恐み恐みも申す

かしこみ かしこみ もうす